



ユリノキフレンズ

新橋小学校

学校だより

令和3年10月29日
令和3年度 第7号

つなぎたい 思いやりの心 地域への思い

副校長 清水 浩一

職員室の窓からは、子どもたちが運動会に向けて終盤の練習に励んでいる姿が見えます。運動会に向けて熱が入り、指導する声や音楽が大きくなっているのを聞くと「一生懸命頑張っているな。」と嬉しくなります。しかし、この喜びは決して私たちの努力だけで得られているのではないということも忘れないようにしたいと思っています。日に日に熱が入る教員の指導する声やBGMの音を子どもの成長を支えるために必要なこととして、ご理解いただき、静かに見守ってくださる近隣の方々の「思いやりの心」によって支えられているのです。このお心があってこそ、伸びやかに練習を積むことができます。お陰様で日々の練習を順調に重ね、晴れやかに11月9日（火）の運動会を迎えることができそうです。あらためて感謝申し上げます。

いよいよ11月6日（土）は新橋小学校創立50周年記念式典です。50周年の取り組みを進める中で、これまでの新橋小学校や地域の歩み、人々のつながり、新橋小学校を支えてくださる皆様方の温かさが伝わってきました。また、新橋小学校50年の歴史が、多くの先輩、地域の方々の熱い思いによって築かれてきたことを、改めて感じた次第です。

皆様のお心にふれ、以前に目にした『江戸しぐさ』という言葉思い出しました。

『おはようにはおはよう』・・・挨拶をされたら挨拶を返すこと。

『肩引き』・・・道で人とすれ違うとき、外側の肩を引き寄せて身体を斜めにしてすれ違うこと。

『傘かしげ』・・・雨の日に道ですれ違う際、お互いに傘を外側に傾け、相手が濡れないようにすること。

『七三の道』・・・道の真ん中を歩かず、端三割を歩いて、残り七割が他の人のために空けておくこと。

『束の間のつき合い』・・・初対面で船などでたまたま同席しただけの相手にも挨拶をして会話を楽しむこと。

『うかつあやまり』・・・こちらに非がなくても、「こちらがうかつでした」と謝ることで、その場の雰囲気良く保つこと。

これから大人になる子どもたちにも心がけてほしいと思いますが、自分自身もできていないと思うものもあります。誰もが気持ちよく過ごせるよう、子どもたちのお手本となるよう、私たち大人が率先して思いやりの心をもって過ごしたいと思っています。これからも「思いやりの心」をつなぎ、温もりのある学校「新橋小学校」を皆様と共に創っていきたいと思っています。

これからも引き続き、新橋小学校の教育活動にご支援とご協力を賜り、子どもたちを見守っていただきますよう、よろしくお願い申し上げます。